

まちづくり交付金 事後評価シート  
寒川駅周辺地区(結果)

平成20年12月

神奈川県寒川町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	寒川町		地区名	寒川駅周辺地区			面積	69.5ha	
交付期間	平成16年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	5,553(百万円)	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	寒川駅北口地区土地区画整理事業、駅前複合施設建設事業								
			提案事業	コミュニティバス運行検討事業								
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			提案事業	なし								
	新たに追加した事業		基幹事業	なし								
			提案事業	なし								
交付期間の変更		当初			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
		変更	なし									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	寒川駅利用者数	人	11,000	H15	12,500	H20	11,591	△	あり なし ●	コミュニティバスの運行等により効果があったが、駅前広場の未整備や駅前複合施設の建設延期が間接的に影響した。	H21年6月頃
	指標2	まちなみに調和した建物の割合	%	7	H15	30	H20	33	○	あり なし	土地区画整理事業実施の効果が指標の達成につながった。	H21年5月頃
	指標3	消防活動等到達遅延建物割合	%	70	H15	25	H20	4	○	あり なし	土地区画整理事業実施の効果が指標の達成につながった。	H21年5月頃
	指標4	公共交通利用を目的とする広場利用者数	人	70	H15	90	H20	160	○	あり なし	土地区画整理事業及びコミュニティバスの運行の実施の効果が指標の達成につながった。	H21年5月頃
	指標5	中心商業地の活性化割合	百万円	12,177	H15	14,611	H20	8,227	×	あり なし ●	土地区画整理事業の実施による一時的な商業の低迷や、駅前複合施設の建設延期が間接的に影響した。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	見通しの悪い交差点箇所数	箇所	14	H15			5		土地区画整理事業実施の効果が指標の改善につながった。	H21年5月頃	
	その他の数値指標2	ライフライン(都市ガス、公共下水道、水道)整備率	%	20	H15			60		土地区画整理事業実施の効果が指標の改善につながった。	H21年5月頃	
	その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	モニタリングの代替えとしてのまちづくり協議会の定期的開催		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				次期計画においても状況の把握に努め、事業への反映に努める。				
	住民参加プロセス	・駅前複合施設についてのパブリックコメントの実施(H18) ・駅前複合施設について町長と語るミニ集会を8回開催(H20)		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				住民意見を尊重しつつ、駅前複合施設について一層の検討を加えていく。				
	持続的なまちづくり体制の構築	地区計画による届出やまちづくり協議会の定期的開催とまちづくりニュース等によるルールの徹底		都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				ルールブックによる建築の推進や、地区計画の届出を促進し、土地区画整理事業終了後においても、まちづくり組織の運営を支援する。				

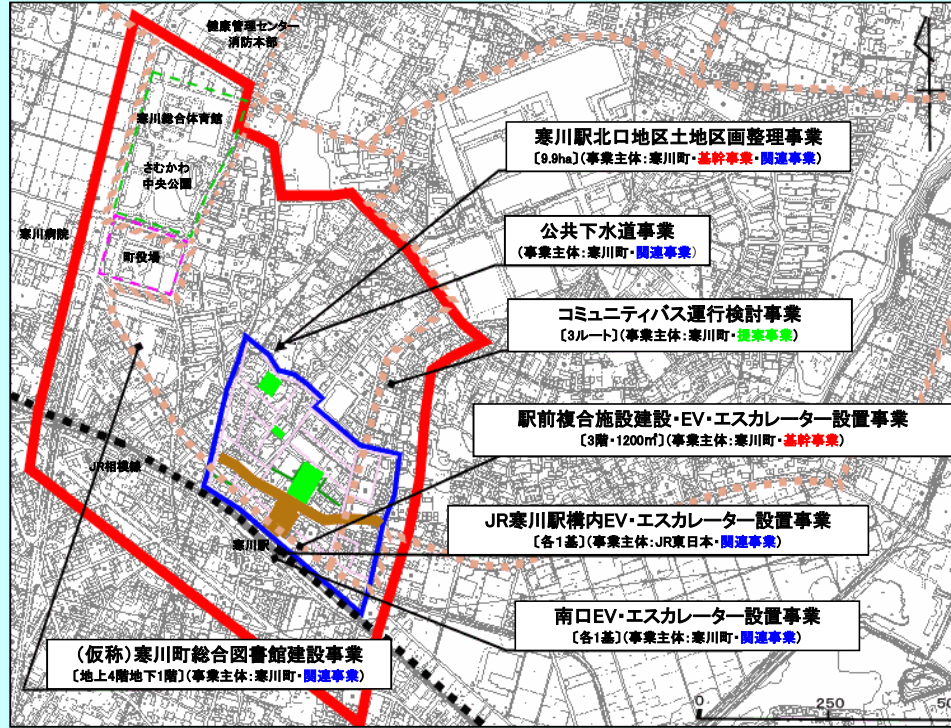
様式2-2 地区の概要

寒川駅周辺地区(神奈川県寒川町) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
安全・快適で魅力ある中心市街地の再生	寒川駅利用者数	単位:人	11,000 H15年6月	12,500 H21年3月	11,591 H20年6月
	まちなみに調和した建物の割合	単位:%	7 H15年4月	30 H21年3月	33 H20年6月
	消防活動等到達遅延建物割合	単位:%	70 H15年4月	25 H21年3月	4 H20年6月
	公共交通利用を目的とする広場利用者数	単位:人	70 H15年4月	90 H21年3月	160 H20年6月
	中心商業地の活性化割合	単位:百万円	12,177 H15年4月	14,611 H21年3月	8,227 H20年6月



寒川駅北口地区土地区画整理事業



コミュニティバス運行検討事業

まちの課題の変化	<p>土地区画整理事業が進捗したことで、道路等の都市基盤の整備が進み、中心市街地形成に必要な都市空間が創出されつつある。</p> <p>コミュニティバスの運行により、駅周辺地区への交通利便性が向上した。</p> <p>土地区画整理事業の早期完了を進めるとともに、商業的施設の立地を促し、魅力ある駅周辺地区とするため、うるおいのある都市空間整備と、歩行者動線の整備が課題として残された。</p> <p>今後も駅前複合施設の機能について検討していくことが課題として残された。</p>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>(まちなみ整備の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土地区画整理事業により、駅前広場を含めた都市基盤の整備を早急に進めていく。</li> <li>地域との協働により、まちなみ形成に係わる地区計画、まちづくり協定などの一層の推進を図る。</li> </ul> <p>(うるおいと賑わいのある中心市街地の創出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>うるおいのある都市空間を創出するため、公園、緑地、街路樹などを整備し快適性を確保するとともに、地域との協働によるイベントの開催等により集客力の向上を図る。</li> <li>土地区画整理事業の早期完了を進めるとともに、商業的施設の立地を促し、賑わいを創出するとともに、駅前複合施設の機能について検討を継続する。</li> <li>寒川駅北口地区における歩行者動線の改善策として、歩道の整備や駅へのアクセスのバリアフリー化を推進し、歩行者の安全と利便性を確保する。</li> </ul>